

株式会社いばらき森林サービス

[法人の概要]

平成27年7月1日現在

代表者名	代表取締役 平戸 郁夫(常勤)	県所管部課	農林水産部林政課	
所在地	常陸太田市東染町470	電話番号	0294-70-5111	
ホームページURL	http://business2.plala.or.jp/s-forest/	E-mailアドレス	s-forest@atlas.plala.or.jp	
資本金(基本財産)	200,000	千円	設立年月日	平成7年7月28日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	100,000	50.0%
	2	常陸大宮市	23,650	11.8%
	3	常陸太田市	22,900	11.5%
	4	大子町	15,600	7.8%
	5	日立市	10,600	5.3%
その他	高萩市など2市及び6森林組合		27,250	13.6%
設立目的	安定した就労条件により林業労働力を確保し、高性能林業機械を活用した近代的な生産体制のもとに、活力ある林業の展開と健全な森林の育成を目的とする森林整備の推進母体として、官民共同出資により設立された。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	内	容	
事業1	立木伐採等事業	35,532	83,212	161,154	当社の有する伐採技術を生かし、倒木の恐れのある危険木や支障木等の伐採を行う。	
	全体事業に占める割合	18.5%	45.7%	65.2%		
事業2	森林整備事業	70,085	67,953	29,381	健全な森林を育成し、公益的機能を持続的に発揮させることを目的とした、下刈・間伐等の森林整備事業を行う。	
	全体事業に占める割合	36.5%	37.3%	11.9%		
事業3	伐出請負事業	13,666	12,940	12,755	当社の有する伐採技術や造材技術を生かし、素材生産の請負事業を行う。	
	全体事業に占める割合	7.1%	7.1%	5.2%		
その他事業	事業1~3以外	72,992	18,160	44,006	緑の雇用制度により林業担い手となる人材の育成研修などを行う。	
	全体事業に占める割合	38.0%	10.0%	17.8%		
全体事業		192,275	182,265	247,296	指定管理者	
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

< 株式会社いばらき森林サービス から県民のみなさまへ >

当社は森林づくりの造林、下刈りから除伐、間伐、さらに林業機械を駆使し、熟練の従業員による高効率作業に徹した主伐から搬出に至る一連の林業全般の業務を主体として、また地域における林業経営モデル事業体としての使命を担い、林業振興発展に貢献してまいりました。

今後とも、皆さまの緑化推進の気運の高まりとともに、当社の認知度を浸透させ、森林所有者や官公庁、民間企業からの信頼性を向上させながら、受注拡大に努め経営の健全化・安定化を目指してまいります。

平成28年2月 代表取締役 平戸 郁夫

[経営状況] 株式会社いばらき森林サービス (単位:千円)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減数	増減理由
損益の状況	売上高	192,275	182,265	247,296	65,031	太陽光発電の達成に伴う伐採の増
	売上原価	168,190	139,245	204,735	65,490	売上高増加に伴う変動費の増
	売上総損益金額	24,085	43,020	42,561	△ 459	
	販売費及び一般管理費	26,520	35,960	36,742	782	
	うち役員人件費(原価計上分含む)	2,928	2,782	2,751	△ 31	
	うち職員人件費(原価計上分含む)	51,010	54,976	59,548	4,572	
	営業損益金額	△ 2,435	7,060	5,819	△ 1,241	
	営業外収益	385	369	578	209	
	営業外費用	0	0	602	602	
	経常損益金額	△ 2,050	7,429	5,795	△ 1,635	
	特別利益	10,844	4,730	777	△ 3,953	補助金による機械等の導入減少
	特別損失	7,629	4,630	1,554	△ 3,076	
	法人税・住民税・事業税	1,087	5,258	1,202	△ 4,056	
当期純損益金額	78	2,271	3,816	1,545		
貸借対照表	資産	274,987	272,932	274,494	1,562	
	流動資産	255,531	236,309	237,312	1,003	
	固定資産	19,456	36,623	37,182	559	
	繰延資産	0	0	0	0	
	負債	64,539	60,213	57,959	△ 2,254	
	流動負債	28,441	20,470	21,000	530	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	36,098	39,743	36,959	△ 2,784	退職金支出有
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	純資産	210,448	212,719	216,535	3,816	
資本金	200,000	200,000	200,000	0		
利益剰余金等	10,448	12,719	16,535	3,816		
県財政関与状況	補助金	10,436	11,527	9,126	△ 2,401	補助事業の実績減
	委託料	55,980	2,814	11,966	9,152	受託業務の増
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出資金等)	0	0	0	0	
	合計	66,416	14,341	21,092	6,751	
	財政的関与の割合(%)	34.5%	7.9%	8.5%	0.7	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減P	備考
人件費比率	人件費/売上高	28.1%	31.7%	25.2%	△ 6.5	
販売管理費比率	販売費・一般管理費/売上高	13.8%	19.7%	14.9%	△ 4.9	
自己資本利益率	当期利益/自己資本	0.0%	1.1%	1.8%	0.7	
総資産回転率	売上高/総資産	0.7	0.7	0.9	0.2	
売上高経常利益率	経常利益/売上高	-1.1%	4.1%	2.3%	△ 1.7	
流動比率	流動資産/流動負債	898.5%	1154.4%	1130.1%	△ 24.4	
借入金比率	借入金残高/総資本	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成25年		平成26年		平成27年		増減数	増減理由	
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	1	0	1	1	0	1	0		
	非常勤理事・監事	9	1	0	9	1	0	0		
	計	10	1	1	10	1	1	0		
職員	管理職	3	0	0	2	0	0	0		
	一般職	5	0	0	6	0	0	0		
	嘱託・臨時職員等	2			2			0		
	計	10	0	0	10	0	0	0		
当期	プロパー職員平均勤続年数	15.7年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計		千円
			0	6	2	0	0	8	39.1歳	プロパー職員平均給与(年額)
										5,186.9千円

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	13	20	65%
計画性	8	19	20	95%
組織運営健全性	10	15	20	75%
効率性	11	15	20	75%
財務健全性	9	15	19	79%
合計	47	77	99	78%

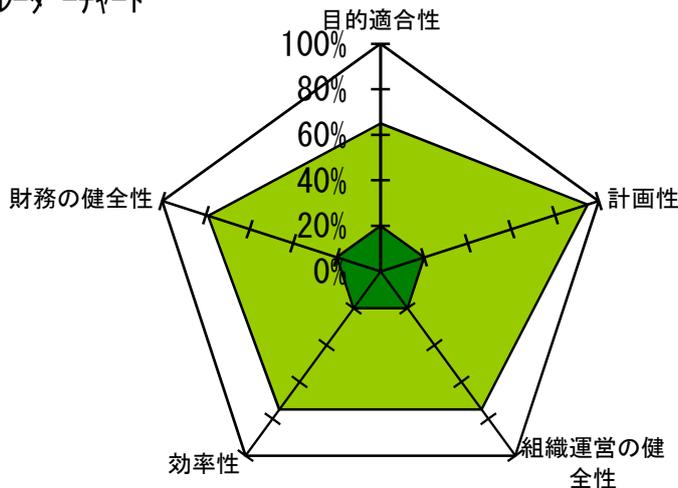
企業会計用

株式会社いばらき森林サービス

警戒指標

--

経営評価
レーダーチャート



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>森林整備の推進母体として、官民共同出資により設立された。また、高性能林業機械を駆使した効率的な施業とともに、地域林業経営のモデルとなる林業事業体として位置づけられており、森林・林業及び木材産業の振興に大きく貢献している。</p>	<p>県民の森林環境に対する関心が高まる中、森林湖沼環境税が延長され、間伐を主とする森林整備に充実した事業展開が図られている。さらに木材バイオマスの森林資源開発の伸展から丸太の需給増加が見込まれていることから、平成25年度に策定した「中期事業計画」に基づき、売上目標値の達成を目指し実行確保に努めている。</p>	<p>「林業技士」取得者7名体制により、技術力の向上と信頼性が高まってきている。また、労働災害防止に徹するためのリスク管理とコンプライアンスの充実を図り、管理体制の健全化に努めている。</p>	<p>鹿行営業所の営業体制の強化に努め、顧客のニーズに応じた迅速なサービス提供している。また、大型トラック導入により丸太運送や機械運搬等に大幅なコストダウンと効率性の向上に努めている。</p>	<p>年間の受注量を平準化を図るために、国有林野部門の事業を受注できるよう関東森林管理局一般競争（指名入札）参加資格を取得し、安定した事業量の確保に努めている。また、不採算部門については内容の検証と見直しの検証を行い、売上目標額の達成に向けて財務体質の強化と健全化を目指している。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>平成26年度の決算は当期純利益が3,816千円を計上し黒字決算となった。今後は引き続き森林湖沼環境税と森林整備加速化・林業再生基金事業を組み合わせた間伐を主体とする育林事業を柱に据え、民有林林業の活性化を目指し「緑の循環システム構築」への一翼を担い、国有林野部門へ取組みを強化し受注増加につなげていきたい。</p> <p>さらに、経営環境の更なる改善と安定化に向け、営業セールスの強化による事業量の拡大に努めるとともに、社員一丸となりコスト意識の醸成に取組み、収益性の向上と経常利益の確保に努め、みどり豊かな県土保全に貢献する信用と誠意に満ちた地元で愛される林業事業体を目指します。</p>			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
当該社の設立は、高性能林業機械を駆使した効率的な森林施業及び就労条件整備など、本県の林業事業体の先導的な役割と、森林組合の労働力の補完を目的としており、十分役割を果たしている。	国及び県の森林整備事業の増加や宮の郷工業団地における県産材需要の増加を見据え、中期計画等を作成し、事業に必要な設備投資や資格取得に努めている。	組織運営は、内規に基づき適切に行われている。 また、ホームページに事業報告並びに決算報告を掲載し、情報公開している。	受注内容に応じた人員配置による人件費、管理費の抑制に努めている。 また、県の補助金や借り入れ、損失補償などに依存していない。	事業量の確保と管理費の抑制等により、連続の黒字決算となり、資産運用や減価償却を適切に行っており、財務体質は健全である。
法人担当課の意見	<p>設立目的に沿った事業実施に努めており、国や県の施策である間伐等の森林整備に取り組み、森林・林業行政の推進に寄与している。</p> <p>平成26年度においても、事業量の確保、管理費の抑制など経営改善に努めた結果連続の黒字決算になっているが、今後も業務の拡大等により経営の安定化を図るよう指導していく。</p>			

[経営目標]

区分	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標値	H26実績	達成度(%)	H27目標値	
経営目標	事業成果	1 森林整備（植栽、下刈、間伐等）	ha	347	304	300	305	100.0%	300
		2 売上高	百万円	192	182	160	247	100.0%	160
	健全性	1 自己資本比率	%	73.0	73.0	70.0	73.0	100.0%	70.0
		2 流動比率	%	899.0	1,155.0	500.0	1,130.0	100.0%	500.0
	効率性	1 職員一人当たりの経常利益	千円	△ 256	929	375	724	100.0%	154
		2 職員一人当たりの経常利益売上高	千円	24,034	22,783	20,000	30,912	100.0%	20,000
平均目標達成度							100.0%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する	
総合的所見等	<p>平成26年度は、太陽光発電事業に係る立木伐採等の事業量の増大により、売上高は247百万円（前期比35.7パーセント増）となった。</p> <p>引き続き間伐を主体とする森林整備事業の拡充や国有林野部門・造園土木分野への進出により事業量を確保するとともに、県内全域を対象とした営業力の強化や管理費の抑制などによる経営の安定化を図り、県内森林環境の適正な管理に資するよう努められたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>引き続き経営の安定化に向けて、他の出資者と連携しながら、公共事業だけでなく新たな事業分野への進出や県全域を対象とした営業活動の強化のほか、機械・設備を有効活用した効率的な事業の実施を指導していく。</p>				